

# 平成 26 年度第 1 回美濃市地域公共交通会議 次第

と き 平成 26 年 6 月 24 日（火）午前 9 時 30 分から  
ところ 美濃市防災中央コミュニティセンター 2 階大会議室

1. 開会あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 議 題

- (1) 平成 25 年度事業報告について 資料 1 資料 2 資料 3 資料 4
- (2) 平成 25 年度決算について 資料 5 資料 5 - 2
- (3) 平成 26 年度事業計画（案）について 資料 6
- (4) 平成 26 年度予算（案）について 資料 7
- (5) 美濃市生活交通ネットワーク計画（案）について 資料 8

4. その他

5. 閉会

# 平成 26 年度第 1 回美濃市地域公共交通会議

## (会議録)

### ○会議の日時及び場所

#### 日時

平成 26 年 6 月 24 日 (火) 午前 9 時 30 分

#### 場所

美濃市防災中央コミュニティセンター2 階大会議室

### ○出席した委員及び説明のために出席した者の職、氏名

#### 出席した委員

美濃市長 武藤 鉄弘

委員 18 名 (別紙のとおり)

委員 2 名欠席

#### 説明のために出席した者の職、氏名

美濃市総務部長	堀部 勉	(事務局)
美濃市建設部長	丸茂 賢治	(市関係部署)
美濃市総務部総合政策課 課長	市原 俊美	(事務局)
美濃市総務部総合政策課 係長	辻 敦史	(事務局)
美濃市総務部総合政策課 主事	平田 純也	(事務局)

合計 24 名

### ○議事の件名及び経過の要点

#### 交通会議次第

1. 開会あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 議 題

(1) 平成 25 年度事業報告について… 資料 1 資料 2 資料 3 資料 4

(2) 平成 25 年度決算について… 資料 5 資料 5-2

(3) 平成 26 年度事業計画 (案) について… 資料 6

(4) 平成 26 年度予算 (案) について… 資料 7

(5) 美濃市生活交通ネットワーク計画 (案) について… 資料 8 参考資料

4. その他

5. 閉会

## 交通会議の概要

午前9時30分

事務局の市原総合政策課長の進行で開会

1. 事務局が開会あいさつ

2. 会長あいさつ

・美濃市長

<武藤会長が議事を進める>

3. 議 事

議題 (1)、(2) について、事務局から一括して説明する。

議題 (1)

平成25年度事業報告について… 資料1 資料2 資料3 資料4

- ・資料1により、平成25年度事業報告について説明する。
- ・資料2により、平成25年度のり愛くん・牧谷線利用状況を説明する。
- ・資料3により、のり愛くん停留所の変更状況について説明する。
- ・資料4により、のり愛くんに関するアンケート調査の結果を説明する。

議題 (2)

平成25年度決算報告について… 資料5 資料5-2

- ・資料5、資料5-2により、平成25年度決算報告について説明する。

○社会福祉協議会 藤田会長より監査報告

<各委員からの意見>

別紙（議題 (1)、(2) についての各委員からの意見）

○ここで、会長が議事について、美濃市地域公共交通会議としての合意の採決を行う。

○議題 (1) 平成25年度事業報告について、議題 (2) 平成25年度決算報告については、出席委員の拍手により、全会一致で合意される。

議題 (3)、議題 (4) について、事務局から一括して説明する。

議題 (3)

平成26年度事業計画（案）について… 資料6

- ・資料 6 により、平成 26 年度事業計画（案）について説明する。

#### 議題（4）

平成 26 年度予算（案）について… 資料 7

- ・資料 7 により、平成 26 年度予算（案）について説明する。

#### <各委員からの意見>

- ・武義高等学校 P T A 市原会長  
牧谷線の協定の見直しについて、高校生の現状の利用実態についての報告をしたいが、期限はいつまでか。

#### 事務局による回答

運行協定は平成 27 年 3 月までとなり、2 月に幹事会を予定しておりますので、それ以前に美濃市・関市・岐阜バスの三者により事務レベルで進めていきたい。それまでに報告をお願いします。幹事会のメンバーでもあるので、協議に参加していただく。

○会長が議事について、美濃市地域公共交通会議としての合意の採決を行う。

○議題（3）平成 26 年度事業計画（案）、議題（4）平成 26 年度予算（案）については、出席委員の拍手により、全会一致で合意される。

議題（5）について、事務局から一括して説明する。

#### 議題（5）

美濃市生活交通ネットワーク計画（案）について… 資料 8 参考資料

- ・資料 8、参考資料により、美濃市生活交通ネットワーク計画（案）について説明する。

#### <各委員からの意見>

岐阜大学 倉内教授：

目標について、バス停の利用者を目標とするのであれば、改善を考えないといけないがどのように考えているか。

#### 事務局による回答

上野地区で停留所の見直しを図った事例のように、自治会に現状の利用状況を投げかけ、地区ごとでの見直しにより、より利用しやすい停留所配置を徹底したい。  
それで利用がない箇所については、事業者への負担があることから、長期的には廃止も視野に入れて進めていく。

○会長が議事について、美濃市地域公共交通会議としての合意の採決を行う。

○議題（5）美濃市生活交通ネットワーク計画（案）について、出席委員の拍手により、全

会一致で合意される。

4. その他

事務局：関市のコミュニティバス再編により、10月から美濃市内への乗り入れ路線が休廃止になる予定である。3か所の停留所があり、休廃止についての議論を美濃市でも行わないといけない。関市での会議の状況を確認しながら、議題（3）で説明した通り、8月に委員の皆様の合意を得たいと考えている。

5. 閉会

会長：人口減少社会、人口増対策、少子高齢化については、公共交通は最重要課題になるので、引き続きたくさんのご意見をいただきたい。

午前11時00分 閉会

## ○委員出席者（19名）

区 分	所 属 名 及 び 役 職 名	氏 名
市長またはその指名する者	美濃市長	武藤 鉄弘
一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体の代表者又はその指名する者	岐阜乗合自動車株式会社 取締役乗合事業本部	武藤 行儀 (代理出席)
	公益社団法人岐阜県バス協会 専務理事	山田 芳喜
	岐阜県タクシー協会 美濃タクシー株式会社代表取締役	長瀬 輝彦
	長良川鉄道株式会社 専務取締役	坂本 桂二
住民又は利用者の代表	美濃市連合自治会 会長	玉田 克己
	美濃市社会福祉協議会 会長	藤田 勝克
	美濃市シニアクラブ連合会 会長	猿渡 宮明
	美濃市観光協会 副会長	且野 隆晃
	美濃市小中学校校長会 中有知小学校校長	古田 誠
	美濃市連合PTA 会長	澤村 直樹 (代理出席)
	武義高等学校PTA 会長	市原 時正
国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局長又はその指名する者	中部運輸局岐阜運輸支局 首席運輸企画専門官	山本 博康
一般旅客自動車運送事業者の運転者が組織する団体の代表者又はその指名する者	岐阜乗合自動車労働組合 執行委員長	三ツ村 秀樹
国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所長又はその指名する者	中部地方整備局岐阜国道事務所 八幡維持出張所長	石原 幸宏
岐阜県美濃土木事務所長又はその指名する者	岐阜県美濃土木事務所 道路維持課長	竹中 尚義 (代理出席)
岐阜県関警察署長又はその指名する者	岐阜県関警察署 交通課長	藤田 勝敏
岐阜県都市建築部公共交通課長又はその指名する者	岐阜県 都市建築部公共交通課長	松田 勲 (代理出席)
市長が交通会議の運営上必要と認める者 学識専門者	国立大学法人岐阜大学 工学部社会基盤工学科 都市デザイン学 教授	倉内 文孝

## ○会議資料

- 【資料 1】 ・平成 25 年度事業報告書
- 【資料 2】 ・平成 25 年度のり愛くん・牧谷線利用状況
- 【資料 3】 ・『のり愛くん』停留所変更一覧
- 【資料 4】 ・美濃市『のり愛くん』に関するアンケート調査
- 【資料 5】 ・平成 25 年度 歳入歳出決算  
・監査報告書
- 【資料 6】 ・平成 26 年度 事業計画（案）
- 【資料 7】 ・平成 26 年度 予算（案）
- 【資料 8】 ・美濃市生活交通ネットワーク計画（案）

### 【参考図面等】

- ・平成 26 年度美濃市地域内フィーダー系統確保維持計画目標値達成状況
- ・美濃市のり愛くんガイドマップ
- ・美濃市地域公共交通会議設置要綱

## 議題（１）、（２）についての各委員からの意見

公益社団法人岐阜県バス協会 山田専務理事

※のり愛くんの乗車密度を教えてほしい。

※牧谷線の補助金について美濃市が負担したのか。

事務局回答

県補助も入っている。これが美濃市の負担分である。

※のり愛くんの負担金の額を公にしてほしい。資料としてオープンにしてほしい。

事務局回答

のり愛くん経費については平成 26 年度予算として 45,000,000 円程度である。平成 25 年度についても、試験運行、本格運行を合わせ同程度である。

※配車できないことが乗車拒否になる。全員が乗れるようなシステムにしてほしい。

岐阜県タクシー協会 美濃タクシー(株) 長瀬社長

※乗車密度について、ジャンボタクシー9名乗りが2台、セダン型4名乗りが3台

感触としてジャンボタクシーは7人程度、セダンなら3名程度の乗り合わせ率である。

※予約いっぱいでも乗れなかった件について、希望の時間が合わなかった方である。9時半に目的地に着きたいという電話が9時にあると難しい。ほとんどが希望の時間に乗れない場合であり、時間をずらしてもらえれば乗車できる。

※現場の状況を説明する。

- ・80歳前後の方が一番多い。耳が遠い方や、システムを理解されない方がいる。いつ、どこからどこへ、何時にという順番で登録するが、乗る日付を後から言われる場合など、一から入力をし直すことになり、時間がかかってしまう要因となる。それが電話が繋がらない原因になっている。
- ・サポートステーションの方が代理で予約をしてもらえると早い対応ができるが、そこで本人に代わられてしまうと普段と同じ状況になり時間がかかる。
- ・停留所の位置がわからない方がいる。家の近くの停留所はわかるが、例えば床屋さんに行きたいと言われ、その近くの停留所を探しながら予約を受け付けるため、一回の電話に時間がかかる。
- ・運転手にはお年寄り相手であるので親切にするように教育している。
- ・アンケートにもあるが、荷物が多いことや雨などの天候、足が悪い方などで自宅近くでなどという降車場所の希望が出るが、運転手に判断させることが難しいので、杓子定規に停留所で降ろすようにしている。
- ・乗車時に停留所で待ってもらえればいいが、木陰で待っていたり、家の中で待っている方もいる。運転手が付近を確認しても乗客がいないので、キャンセルと判断して出発するが、後ほど「待っていたのに」と電話が入るため、無線で運転手に戻らせることもある。それが運行の遅れの原因となる。
- ・予約をされる方には、時間の余裕を持っていただきたい。乗り合わせることで時間のずれが生じることを理解してもらいたい。タクシーとされている面がある。
- ・通勤利用の方がおり、1週間分まとめて予約を取られる方がいる。その帯予約が基準となる。この予約方法がいいことなのか。予約件数を減らすようにするなどで、アンケートで一番多かった週2～3回乗車する方の希望に沿えないのではないかと。帯予約の方は5名ほどいる。
- ・まとめて3名予約を取る場合など、1人分の停留所のみを言われ、後から他の方の

停留所を言われると予約成立まで時間がかかってしまう。

- ・システムの運行の効率は良い。30分前までの予約であるが、実際は20分台でお迎えにいけることもある。
- ・17時30分までの予約であるが、18時までには空車にしないとイケない。遠方の方については予約電話は通じる時間帯なのに配車できないことがあり、クレームとなる。
- ・ホームページ等で周知しているため、他市の方が観光で使うことがある。例えば和紙の里会館まで8名で乗りたいという問い合わせがあると、4名までの予約をお願いしている。
- ・利用者負担を増やしていただきたい。アンケートでも200円にしても良いという方もいらっしゃるので、今後のために考慮していただきたい。
- ・病院からスーパーへ、タクシーでの乗り合わせを運輸局との相談のうえ考えている。結果的に周辺部での「のり愛くん」の利用に余裕ができるかもしれない。
- ・観光客向けの日乗車券のようなものを作ってはどうか。
- ・車両の中に、自動ドアではないものや、ハイエースなので高くして乗り降りがしづらいという意見もある。車両更新が必要であるが、そのあたりを利用者の負担増と合わせて考えていただければありがたい。

#### 美濃市シニアクラブ連合会 猿渡会長

- ・高齢者にはありがたいものである。元気な者とそうでない者がおり、全員が満足することは難しいが、気を付けて使っていきたい。

#### 武義高等学校PTA 市原会長

- ・子どもの利用について、夏休みの部活などで利用があるのか。

長瀬社長による回答

予約の声で判断すると、中高生の利用も見られる。目的地は部活もあると思うが、遊びでの利用も見られる。また、高校生は下校での利用も見られる。

#### 美濃市連合自治会 玉田会長

- ・高齢者の利用が多くみられる。大変ありがたい。100円で利用できるのは大変お値打ちである。年間で500万円程度の収入になり、残りは市の負担であるが、これからも継続していただきたい。

#### 長良川鉄道株式会社 坂本専務

- ・観光客は長良川鉄道の利用が多いと思われるが、弾力的な利用をしていただきたい。本来の市民の利用という本来の目的を考えると複雑だが考えていただきたい。今後モミジの季節などで大矢田への移動などの問い合わせが長良川鉄道にもあるので、観光客への配慮をしていただけるとありがたい。
- ・予約についての市民の方の理解が必要であるが、マニュアル等は世帯に配布されているか。

長瀬社長による回答

ガイドマップに手順が載っている。細かく言うと予約電話の方法について修正したほうが良い面もある。

会長…我々にもわかりにくいので、次回マップを作成する際には修正します。

- ・市内でのフリーパスなどは長良川鉄道とのセット企画なども考えたい。

岐阜県バス協会 山田専務理事

- ・いろいろなことを取り入れると予算がかさむ。福祉の予算、観光の予算を取り込んでやっていけないのではないか。
- ・マップに配車できないケースがある旨を入れておかないと、トラブルのもとになるので今後入れていただきたい。

岐阜県公共交通課 瀬瀬主事（代理出席）

- ・システムありきのデマンドであるが、人数が増加していることで問題が生じることもありえるので、改善策を講じていく必要がある。
- ・停留所がわからないということに対して、定時定路線のバスであれば運転手に聞けばどこのバス停で降りればと答えられる。タクシーのいい部分を取り入れながら、その点での改善もお願いしたい。

岐阜乗合自動車労働組合 三ツ村執行委員長

- ・高齢者の方はもとより、地域の方の利便性を考えないといけないが、携わっていくなかで色々な意見が出るが、いい方向性に向けていければいいと思う。
- ・乗務員の方の働く者の立場として、気持ちよく乗務ができ、地域の方とコミュニケーションを取りながら輸送できるのが素晴らしい理想であるので、そちらに向けてやっていただけるといいと思う。

美濃市観光協会 旦野副会長

- ・店でサポート店をしているが、半道地区の方をよく見るようになったが、やはりタクシー感覚の方が多いので、タクシーとの違いをPRしたほうがよい。いつまでたってもいろいろな希望が出てしまう。
- ・観光客については、予約人数の改善はしていただきたい。
- ・美濃への来訪についてバス路線の検索をすると、出てこない。長良川鉄道経由だと時間がかかる。美濃市を通過する名古屋や大阪へ行く高速バスはある。郡上八幡インターは止まるが、美濃インターは通過してしまうので、働きかけをしていただき、美濃インターでも停車してもらえるようにしてはどうか。
- ・「のり愛くん」フリーパスの導入も検討していただきたい。

美濃市社会福祉協議会 藤田会長

- ・お年寄りの方が外に出やすくなったということで、いい方向に行っている。
- ・問題は今後も起きてくると思うが、従来の目的である「市民の足」を考えると、事務局と協議しながら、一つ一つ問題を潰していく必要がある。
- ・運転手がお年寄りに気を使ってくれ、声をかけていただくことが好評である。ほんの一言が重要なので、美濃タクシーさんからも運転手に啓蒙していただきたい。

岐阜大学 倉内教授

- ・いいこと、考えるべきことがいくつか出てきた。
- ・予約がうまくいかないことについて、全体で見た場合、予約不成立は月 10 件程度で、1日あたり 1 件もないので大きな問題とはなっていない。
- ・帯予約については、公共交通という立場でみると、「デマンド」というのは誰でも

電話をすれば使えるのが売りである。先に予約を取ってしまうことを果たして認めるべきかどうかというのは、位置付けから見ると慎重に考えなければならないものである。

- 牧谷線について、便ごとの利用者数やヒアリングをしていただき、時間の変更等のニーズや、現状がマッチしているかのチェックをしたほうが良い。
- 予約方法がわかりづらい。電話予約の部分を名刺サイズのものなどを作ったほうが良い。
- 美濃病院からショッピングセンターなどの集中している場所であれば、シャトルのようなものを導入してもよいのではないか。
- 1回あたりの乗車に900円程度かかっている。高齢者の方については1回あたり1,000円かかるのに対し、100円を負担していることになる。美濃市の地形的に見てこれは頑張っているほうではあるが、保険のような考え方をすると、10%負担というのが適切であるか。運賃を200円にして、20%の負担とすることも考えられる。
- 観光、福祉のとらえ方もあるが、交通安全としての捉え方もある。お年寄りが無理して運転して事故を起こすことがなくなる。そういった効果もあることをアピールしたほうがよいのではないか。